

石狩川上流・天塩川上流水防連絡協議会
第3回 天塩川上流減災対策委員会 議事要旨

日時：平成29年 6月26日（月） 13時30分～15時10分

会場：グランドホテル藤花 2F大雪の間（名寄市西5条南4丁目）

参加者：別紙による

【議事】

- (1) 減災対策委員会の規約改定について
 - ・水防法の改正について
 - ・規約の改定について
- (2) 平成28年8月降雨による洪水概要について
- (3) 幹事会の報告
- (4) 水防災意識社会に向けた取組状況について
- (5) 「概ね5年間で実施する取組」の進捗状況について
- (6) 北海道管理河川での取組について
- (7) 北海道管理河川における現状の水害リスク情報や取組状況について
- (8) 「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画について
- (9) 今後の予定について

【議事要旨】

- ・規約（案）について 第9条、10条にある「要領」を「規約」に修正する。その他、委員会から協議会への変更、及び規約（案）について承認
- ・平成28年8月降雨による洪水概要の情報共有
- ・水防災意識社会に向けた取組状況として「中小河川等における水防災意識社会の再構築のあり方について」の答申、および国交省通達「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく都道府県等管理河川での取組について」の確認
- ・「概ね5年間で実施する取組」の進捗状況の確認
- ・北海道管理河川での取組の確認
- ・北海道管理河川における現状の水害リスク情報や取組状況の確認
- ・「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画の情報共有

【委員からの主な意見】

（士別市）

- ・昨年の出水では8月20日深夜に名寄河川事務所から天塩川に関する情報連絡があった際、住民に対し避難指示を出したが躊躇がなかったわけではない。
- ・今後も住民の安全を守るため出すべきものは出していきたいと考えている。
- ・今後も関係機関と連携して対応を進めたい。

（名寄市）

- ・昨年6月に行われた水防訓練が8月の出水対応に生かされたのではないかと考えている。
- ・市では7月に千年に一度の規模の洪水を想定した住民参加型の避難訓練、8月に防災セミナーを予定しており関係機関のご協力をいただきたいと考える。

（和寒町）

- ・町では小河川の改修や気象情報システムの更新を行う予定である。
- ・町職員は少ないが関係機関からの情報を活用し出水への対策をとっていききたい。

(剣淵町)

- ・昨年の出水では水があふれ道路をふさいだ箇所があった。道道でも危険であれば通行止めの判断を地元でできるよう柔軟に対応を望む。
- ・通行止めにする際には、橋の手前ではなく、その手前の交差点で止めることが重要である。ドライバー心理として、交差点であれば迂回する選択肢があるが、橋の手前では通行止めを無視する可能性がある。

(下川町)

- ・「名寄川地区かわまちづくり」の登録に感謝。身近なソフト対策が住民の川への関心を高めることに期待する。
- ・当町では昨年の出水で大きな被害はなかったが、名寄川では役場の標高よりも 2m 以上水位が上昇している箇所もあり、仮に堤防が無ければ浸水していた恐れがあるなど、水位に関する情報が住民に届くようにしたい。
- ・近年の大雨の影響により訓練への住民参加が増えている。引き続き、防災意識の啓発をすすめたい。
- ・サンルダムの完成は治水への役割として重要だが、平成 12 年から進めている「郷土の森づくり」をダム完成後も継続していくことが重要である。出水や斜面崩壊等に対する森林が担う役割は大きく、森林整備は重要である。
- ・災害時のリエゾンについて感謝。日頃から情報提供をお願いしたい。

(美深町)

- ・治水事業の進捗により安全面は向上しているが、近年対策本部を頻繁に設置していることから、気象面の変化が大きいと感じている。
- ・住民に防災意識を浸透させることが重要と考えている。今年、老人ホームで訓練を行う予定であり、防災意識の向上を図りたい。
- ・樋門操作員（樋門等水位観測員）の高齢化が進んでおり、何かしらの対策を考える必要がある。操作訓練等も必要ではないかと考える。

(音威子府村)

- ・昨年の出水では名寄河川事務所からポンプ車を派遣してもらい感謝。
- ・村では訓練を未実施であり、戸別情報端末等も無く、避難情報の周知は広報車がメイン。
- ・今後、住民も参加した訓練を実施していきたい。

(中川町)

- ・災害対応時の首長の立場の重さ、重要性を再認識している。
- ・町では IT 端末を各戸に配布して各種情報を提供している。
- ・天塩川での水切り大会や解氷日クイズは単なるイベントでは無く、日頃からの天塩川に対する意識付けを目的に行っているものである。

(上川総合振興局)

- ・市町村支援の体制や防災拠点地図を進めて行きたい。
- ・リエゾンを強化していく。
- ・道職員退職者や自衛隊退職者などの災害対応経験者によるノウハウ伝達などを行い、関係機関

と連携しながら対応していきたい。

(北海道警察旭川方面本部)

- ・ 職員の災害対処能力の強化を目指しているところ。空振りを恐れず、見逃しはしない様にする
ことが犯罪に対しても災害に対しても重要と指導している。
- ・ 関係機関の各種防災訓練等にも計画段階から参加させて頂き、災害の前から顔の見える関係を
構築していきたい。

(自衛隊)

- ・ 関係機関の情報共有が重要と考える。
- ・ 各機関と共同で訓練を行っていきたい。

(気象台)

- ・ 気象予警報の的確な発表に努めたい。
- ・ 7月から警報の発表基準を見直すこととしている。
- ・ 気象情報を活用していただくため、防災教室等による普及啓発に取り組みたい。

(旭川開発建設部長)

- ・ 10年程前に比べ、各機関の連携の結びつき、住民の災害への意識が高まっていると感じる。
- ・ 当部を含め各機関の災害担当者が減少している状況であるが、本会による各機関の連携により
今後の出水に対応していきたい。

(以上)

石狩川上流・天塩川上流 水防連絡協議会

第3回 天塩川上流減災対策委員会

機 関 名	役 職 名	氏 名	備 考
士別市	市 長	牧野 勇司	代理:副市長 相山 佳則
名寄市	市 長	加藤 剛士	
和寒町	町 長	奥山 盛	代理:副町長 広富 之緒
剣淵町	町 長	早坂 純夫	
下川町	町 長	谷 一之	
美深町	町 長	山口 信夫	代理:副町長 今泉 和司
音威子府村	村 長	左近 勝	代理:副村長 佐藤 和之
中川町	町 長	川口 精雄	
上川総合振興局	局 長	渡辺 明彦	代理:地域創生部長 大野 哲弘
北海道警察 旭川方面本部	本部長	池田 康則	代理:警備課長 岡崎 健一
陸上自衛隊第2師団	師団長	高田 克樹	代理:防衛警備幹部 佐藤 俊輔
旭川地方气象台	台 長	磯部 英彦	
旭川開発建設部	部 長	樺澤 孝人	